

公共交通シンポジウム 2022

ウィズコロナ時代における公共交通の姿

～感染防止対策とお出かけ促進に向けた新しいスタイルの模索～

日 時 : 令和4年4月25日(月) 14:00～16:30

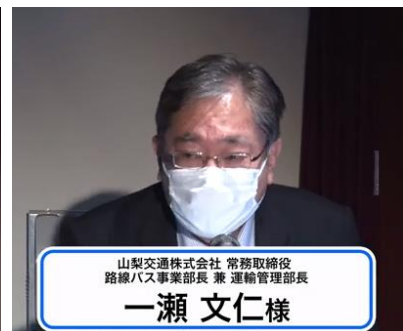
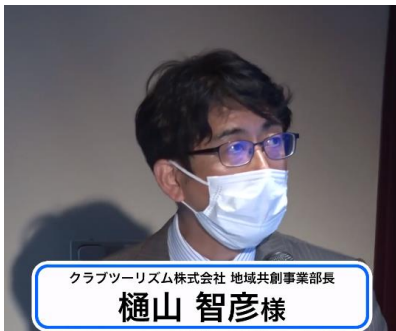
開催形式 : 現地・オンライン配信

講 師 : 横浜市立大学附属病院 感染制御部部長 医師 加藤 英明 氏
筑波大学システム情報系 社会工学域 教授 谷口 綾子 氏
クラブツーリズム株式会社 地域共創事業部長 樋山 智彦 氏
小田急箱根ホールディングス株式会社 専務取締役 長谷川 豊 氏
山梨交通株式会社 常務取締役路線バス事業部長兼運輸管理部長 一瀬 文仁 氏

○基調講演をいただいた講師2名



○事例発表をいただいた講師3名



2022年4月25日(月)に公共交通シンポジウム2022「ウィズコロナ時代における公共交通の姿～感染防止対策とお出かけ促進に向けた新しいスタイルの模索～」を、日比谷コンベンションホールとYouTube Liveでのオンライン配信とのハイブリットで開催しました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、公共交通機関は利用の低迷が続き厳しい経営状況となっています。本シンポジウムは、公共交通機関を安全に利用するための医学的な知見や、感染防止に向けた方策を紹介し、利用者・事業者双方に向けた安全・安心な利用に向けた取組を考

えるという趣旨で開催しました。現地参加は 69 名、オンライン参加は 264 名の方々に事前に申込みをいただき、当日は現地参加者 62 名、オンライン視聴回数 385 回となりました。

基調講演では、横浜市立大学附属病院の医師である加藤 英明氏から「新型コロナウイルス感染症と共存する将来の旅行像」と題して、新型コロナウイルス感染症を防止するために必要な対策や注意点をご講演いただきました。「マスクを着用して、静かにしている限り、感染が広がるリスクは低い」という加藤氏自身の医療現場での経験や、各国の事例に基づいた医療の観点からのお話は、依然として厳しい状況が続く公共交通に関わる方々にとっては温かい後押しとなる内容でした。公共交通の安全性筑波大学システム情報系の教授である谷口 綾子氏からは「モビリティ・マネジメントのココロ」と題して、公共交通の利用促進に向けたモビリティ・マネジメントの活用についてご講演いただきました。モビリティ・マネジメントとは、一人一人のモビリティ（移動）が社会的にも個人的にも望ましい報告に自発的に変化することを促すコミュニケーションを中心とした交通施策のことです。国内事業者や海外での効果的なモビリティ・マネジメント事例について紹介いただくとともに、成功のための条件や導入検討手順をお話いただきました。

○加藤 英明氏による基調講演の様子



続く事例発表では、クラブツーリズム株式会社の樋山氏からコロナ禍での安全・安心な旅行を実現するための会社を挙げての取組について、小田急箱根ホールディングス株式会社の長谷川氏から箱根エリアでのパークアンドライドの取組について、山梨交通株式会社の一瀬氏からやまなし観光 MaaS をはじめとした取組についてご説明いただきました。

最後に、パネルディスカッションでは、筑波大学教授の谷口氏をコーディネーターとして、ご登壇いただいた講師の皆様、事前に参加者からお寄せいただいた質問や会場の参加者から出た質問についてご回答いただきました。

参加いただいた方からは、「とても勉強になるシンポジウムでした。有識者と交通事業者が一

緒の立場でお話しされることで、リアルな現状と前向きな方策が聞けて良かったです。」「スムーズな進行だったと感じた。」「ウィズコロナにおける公共交通機関の役割について、改めて考える機会となった。」との御意見をいただきました。

開催にあたりご協力いただいた皆様には、事務局一同、心から感謝申し上げます。また、本シンポジウムの内容が、ご参加いただいた皆様にとりまして少しでもお役に立ちましたら幸いです。

○講師5名によるパネルディスカッションの様子



【参加者感想（一部抜粋）】

- ・とても勉強になるシンポジウムでした。有識者と交通事業者が一緒の立場でお話しされることで、リアルな現状と前向きな方策が聞けて良かったです。
- ・オンラインで参加した。スムーズな進行だったと感じた。
- ・ウィズコロナにおける公共交通機関の役割について、改めて考える機会となった。
- ・限られた時間ではありましたが、基礎講演・事例発表されて皆さまのご説明が分かりやすく拝聴いたしました。ありがとうございました。
- ・先生方のお話 事例発表それぞれの立場に立った発表の仕方皆様のお話はとてもよく理解出来ました。
- ・加藤先生の基調講演でコロナは過度に恐れることなく正しく予防することが重要であると再認識できました。各事業者は厳しい状況の中、創意工夫して難局を乗り切ろうとしていることも伝わってきました。
- ・医師の見解や事例紹介も含め広い視点での考え方が伺えて勉強になりました。
- ・口で言うとカドが立つので、可視化する(チラシ等)ことで伝えるというところに共感。安心安全⇒適度な不安があった方が対策をしっかりとる。まさに with コロナだと思いました。
- ・まず、基本的な感染対策の講演からスタートし、その意識を持ちながら公共交通の利用促進

につながる講演、事例紹介という流れはとても理解しやすく、興味深く聴かせていただきました。

- ・ 谷口綾子先生の講演は、公共交通への視点を変えるものであり、大変参考になりました。
- ・ YouTube で参加出来たことは、移動時間を節約できるなど、メリットもありました。また当日、都合が悪く参加できなかった人でも後日、視聴出来るなどのフォローもして頂き助かります。
- ・ 一人ひとりの発表時間がもう少しあればいいと思いました。
- ・ パネルディスカッションの時間がもう少し長ければ良かった。